

企業ニュース

遠洋マグロ漁船でも採用

海水淡水化装置 高性能でコンパクト

ワイズグローバルビジョン(株)

ワイズグローバルビジョン 世界最小クラスの海水淡水化装置が大型遠洋マグ



導入した遠洋マグロはえ縄船・第78錦哉丸

ロはえ縄漁船に導入された。既設置の外国製造水装置を使って真水を確保しているが、船齢が20年と古く、造水装置も古くなって故障がちで心配。このため、万に備えバックアップ用として導入した。おいしくて、きれいな真水が得られることから、既設置の外国製に代えて平時でも使用が考えられている。導入したマグロ船主は「安心して操業ができる」と期待している。

導入したのは鹿児島県いちき串木野市のマグロ漁業会社、串木野まぐろ(株)所属の遠洋マグロ漁船・第78錦哉丸(469ト)。8月初旬に帰港メ

バチやキハダなどマグロ300トを水揚げしたあと、2日程度で装置の設置を終えた。ワイズグローバルビジョン製の日産造水能力2・4トの「ME100」海水



設置された海水淡水化装置

淡水化装置を静岡市の販売代理店・丸新商店(寺田達矢社長)を通じて納入した。

第78錦哉丸では、既装置を使って炊飯、料理、飲料水などのほかシャワー用にも真水を確保しているが、串木野まぐろの早崎達哉専務は「造水装置も古くなって故障が

同船には腕のいいベテラン機関長・友利政光氏が乗り組んでいて、大抵の部品や機関の修理などを行う。しかし限界があ

入できない」という。こうしたことからワイズグローバルビジョン製の装置を準備用として導入した。「長期航海する

遠洋マグロ漁船にとって真水は大事な生命线。新装置には大いに期待している」と早崎専務は語っている。

同船には腕のいいベテラン機関長・友利政光氏が乗り組んでいて、大抵の部品や機関の修理などを行う。しかし限界があ

り、造水装置も性能のいいものが必要になっていく。ワイズグローバルビジョンの川満直樹シニアマネージャーは「コンパクトでリースナブルな価格なので導入しやすい。操作も簡単だし、浄水力も水道法の基準値をクリアできる。ミネラルが豊富な飲料水が得られる」と、説明している。

ソテイカ船や近海操業マグロ船などでの導入も進んでいる。

▽代理販売(丸新商店) 静岡県静岡市清水区島崎町5-4、☎054-352-1131

▽製造・ワイズグローバルビジョン(株) (沖繩本社) 沖繩県うるま市勝連南風原5192-47、☎098-923-11432、FAX098-923-1872、(東京本社) 東京都渋谷区渋谷1-7-5、青山セブン

ハイツ1006、☎03-6427-3697

納入した寺田・丸新商店社長(左)と78錦哉丸機関長の友利氏(右)

納入した寺田・丸新商店社長(左)と78錦哉丸機関長の友利氏(右)